

Hospital

病院スタッフを紹介

眼科に赴任しました



眼科医長 **野口 圭** 医師

4月から眼科に常勤医として赴任しました。私は東京生まれで、大阪→東京→埼玉→奈良→埼玉→東京と移り住み、静岡県は初めて。今までほとんどの時間を内陸で過ごし、海沿いの街にある病院で働きたいと御前崎病院にたどり着きました。以前の病院では、主に眼科全般に関する診療のほか、白内障やまぶたの手術をしていました。

目がかすむ、ゆがんでみえる、だぶって見える、揺れてみえる、左右で色が違ってみえる、痛い、かゆい、疲れる、まぶしい、乾く、ゴロゴロする、まぶたが重い、ぴくぴくするなど、眼に関する異常はいろいろな表現になりますが、受診者の不調を改善し、安心して帰ってもらえるような診療を心掛けますので、どうぞよろしくお願いします。平日は毎日外来診療する予定です。 ※このコーナーは本号で終了します。

Atomic

暮らしと原子力

原子力事象の国際評価尺度

原子力安全・保安院は、東北地方太平洋沖地震による東京電力（株）福島第一原子力発電所事故に対する国際評価尺度をレベル7と暫定評価しました。放射性物質の放出量は、同じレベルのチェルノブイリ原子力発電所事故の1割程度となっています。

国際評価尺度は、国際原子力機関（IAEA）と経済協力開発機構の原子力機関（OECD/NEA）が、1992年3月に加盟各国に提言したものの、原子力施設の個々の事故・トラブルが安全上どのような意味を持つものかを簡明に表現できるような指標として策定したものです。日本でも1992年8月から運用しています。

同院は「最終的な国際評価尺度は、事故の原因が判明し再発防止対策が確定した後、

総合資源エネルギー調査会原子力安全・保安部会の国際評価尺度評価小委員会が再検討し正式評価する」と発表しています。

原子力事象の国際評価尺度（INES）参考事例

レベル	事象	国際評価尺度
レベル7	深刻な事故	事故
レベル6	大事故	
レベル5	所外へのリスクを伴う事故	異常な事象
レベル4	所外へのリスクを伴わない事故	
レベル3	重大な異常事象	
レベル2	異常事象	
レベル1	逸脱	
レベル0	安全上重要でない事象	